

キャラクター名  
アルシマ・スタンダット

プレイヤー名

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	傭兵	性別	女	年齢	18
冒険者Lv	13	経歴	家族に魔法使いがいる (いた)		
経験点	87650		大きな挫折をした事がある 神器を見た事がある		

	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
技	7	器用度	9	32	6	54 9
		敏捷度	11	30	6	54 9
体	10	筋力	12	29	7	58 9
		生命力	8	6	6	30 5
心	4	知力	8	18	6	36 6
		精神力	9	5	36	54 9

技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.	技能	Lv.
ファイター	13						
フェンサー	13						
シューター	13						
マジテック	13						
スカウト	9						
レンジャー	9						
エンハンサー	1						

戦闘特技			
タフネス	2122p	双撃	1B30p
ルーンマスター	1B34p	精密射撃	1B30p
バトルマスター	3143p	頑強	1B29p
トレジャーハント	2120p	超頑強	1B29p
ファストアクション	2123p	魔力撃	1B39p
影走り	2120p	スローイング	1B30p
治癒適性	2122p	射手の体術	1B29p
不屈	2123p	足さばき	1B29p
ポーションマスター	2123p	鷹の目	1B30p
武器習熟A/アックス	1B31p	防具習熟A/金属鎧	1B31p
武器習熟S/アックス	1B31p	防具習熟S/金属鎧	1B32p
両手利き	1B32p	防具の達人	1B32p
全力攻撃	1B36p	キャパシティ	1B29p
二刀流	1B30p	魔法収束	1B39p
命中強化	1B32p	魔法制御	1B32p
マルチアクション	1B39p	牽制攻撃	1B36p
二刀無双	1B31p	必殺攻撃	1B38p
武器の達人	1B31p	なぎ払い	1B38p

技能	技能レベル	基本命中力	基本回避力	基本追加ダメージ
ファイター	13	22	22	22
グラップラー	0			
フェンサー	13	22	22	22
シューター	13	22	22	22

鎧と盾		必要ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	イスカイアの魔導甲冑 b		26		7
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					3
回避技能	ファイター	合計値	22	10	

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
グランドアックス 魔法+2 イグニタイト+5 カレルカ追加+5	2 H	20	2	2d+	26	11	32	45									
グランドアックス カレルカ追加+5	1 H両	20	2	2d+	26	11	32	35									
ブラジガン 射程10m 弾数6発 カレルカ追加+5	1 H	5		2d+	24	10	24										
ブラジガン カレルカ追加+5	1 H	5		2d+	24	10	24										
リベリオン	2H	20	1	2d+	25	10	23	35									
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
10 m	54 m	162 m

回避	防護点
2d+	22

HP
114

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
魔動機術	13	19			

魔物知識/弱点	先制力
2d+	0/X
2d+	18

生命抵抗	精神抵抗
2d+	18
2d+	22

MP
108

装備品	説明
頭	ゼーホルダー<ガジェット>
耳	数多の蝙蝠の耳飾り 不可視敵の修正を-2 見えない状態で行動可
顔	
首	
背中	カのカレル文字 全ての追加ダメージ+1
右手	誓いの指輪
腰	カレル食
足	バレットスリンガー
その他ウェポンホルダー	

装備品	説明
聖印	
左手	銀嶺弧雀

その他メモ	自動失敗チェック
アルシマ・ディヴィノリアは他学園からの留学生で、カルヴァリエにはザルツの歴史と流派を学びにきている。(建前)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑤
アルシマは中流階級の政略結婚に使われる子供の善だった。だが、結婚相手が突如として別の女性を妻として迎え入れてしまった。それによってアルシマは役目を追われ、家での居場所を失うことになる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑩
彼女は幼いながらもそれを理解したのは8才の時であった。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑮
今まで優しかった大人や使用人すべてがアルシマと距離を置くようになる。だがある日、ディヴィノリア家にアルシマを迎え入れたいという旨の手紙が届く。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ⑳
相手は領地を一代で得た優秀な貴族だと思ったアルシマの両親は即座にその婚姻を認めた。アルシマはされるがままその貴族の家で過ごすことになる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉕
彼の家での生活はアルシマにとって天国のようでもあった。夜、私室に呼び出されて眠目を擦りながら抱きしめさせたり、髪の毛を食べ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉙
	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ㉚





